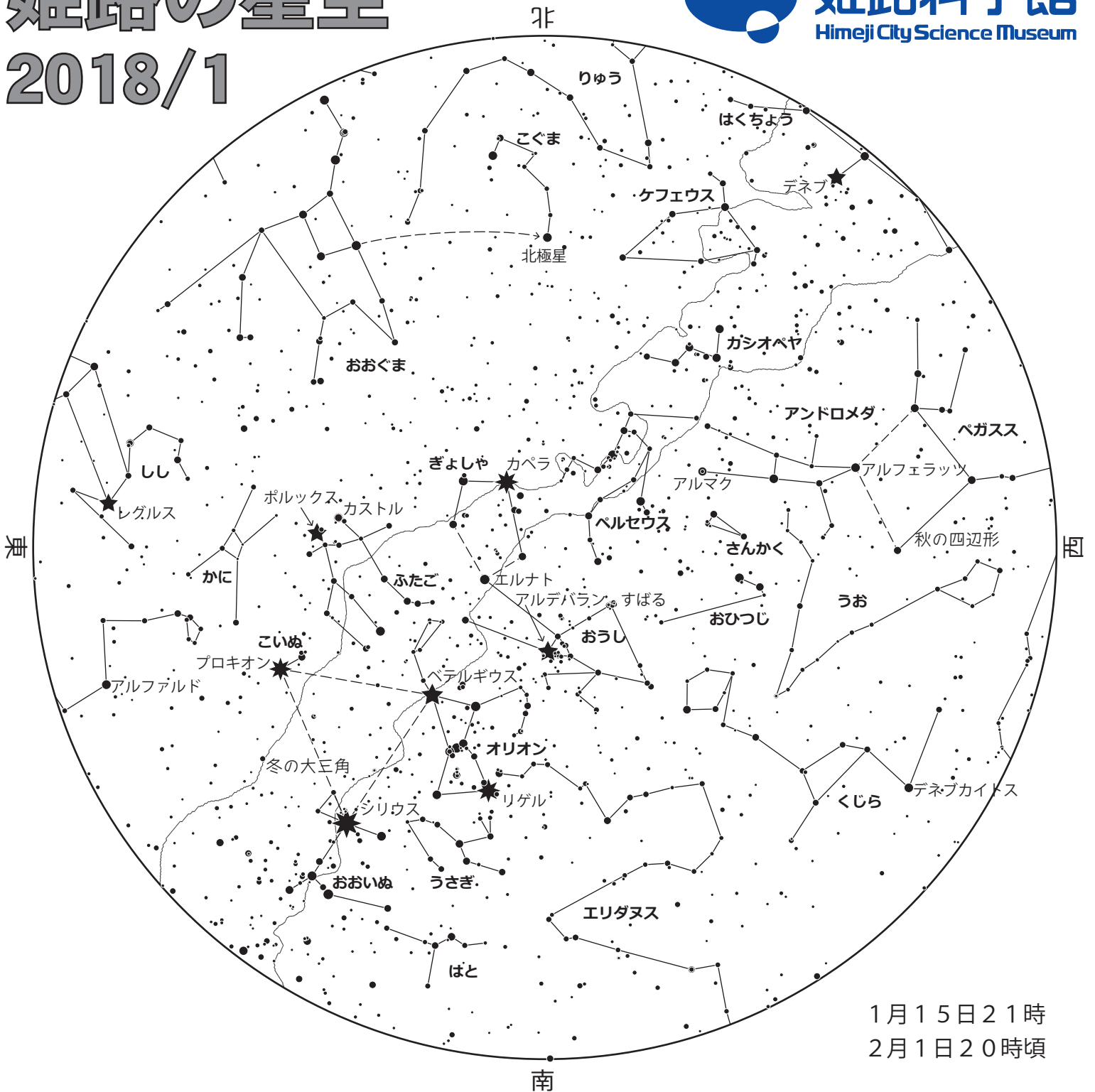


姫路の星空

2018/1



姫路科学館
Himeji City Science Museum



1月15日21時
2月1日20時頃

南から東にかけて見える冬の星座は、明るい星が多くにぎやかです。中でも、結んだりボンや砂時計のように見える**オリオン座**が目立ちます。オリオン座には2つの1等星ベテルギウスとリゲルがあります。リボンの結び目にあたる「三つ星」を左下にのぼすと、恒星では全天一明るい、**おおいぬ座**のシリウスが見えます。シリウスと**こいぬ座**のプロキオン、オリオン座のベテルギウスを結び、冬の大きな三角ができます。オリオン座の三つ星を右上にのぼすと、**おうし座**のアルデバランや星の集まり「すばる」が見つかります。おうし座の北側の五角形**ぎよしや座**にはカペラが目立ち、オリオンの左側には**ふたご座**のカストル、ポルックスがなかよくならんでいます。

東から北東の空には、春の星座の**しし座**や、ひしゃくの形の七つ星「北斗七星」が見えるようになりました。北斗七星からは北極星を探せますよ。

2018年1月31日に、皆既月食が起こります。20:48頃から欠け始め、21:51頃から23:08頃にかけて、満月が地球の影にすっかり入る「皆既食」となり、日付が変わって2月1日の0:11頃に月食が終わります。寒い時期ですが、暖かくして、安全な場所で観察してみましょう。